

第1章 いわき市の概況

1 土地

いわき市は、昭和41年10月1日に5市4町5村の合併により誕生しました。

本市は、福島県の東南部に位置し、南端は茨城県、西は阿武隈高原、東は太平洋に接しており、面積は1,232.51km²で、県全体の約9%を占める広大な市域を有しています。

また、地形の状況は、西部の山地と東部の丘陵地・低地に大別されます。山地は矢大臣山をはじめとした平均700m前後の山々が連なっており、その面積は市域の約70%を占めています。

東側の低地は太平洋に面して平野が開け、夏井川、鮫川などの河川が阿武隈高地から市域を貫流し、太平洋に注いでいます。



図1-1 いわき市概要図

2 気 候

本市は、年平均気温は 11～15℃前後、また、年間降水量は 800～2,000mm と少なく、積雪は年 1～2 回観測される程度で、県内でも温暖で過ごしやすい地域です。

しかしながら、近年、年平均気温は高くなる傾向が見られます。

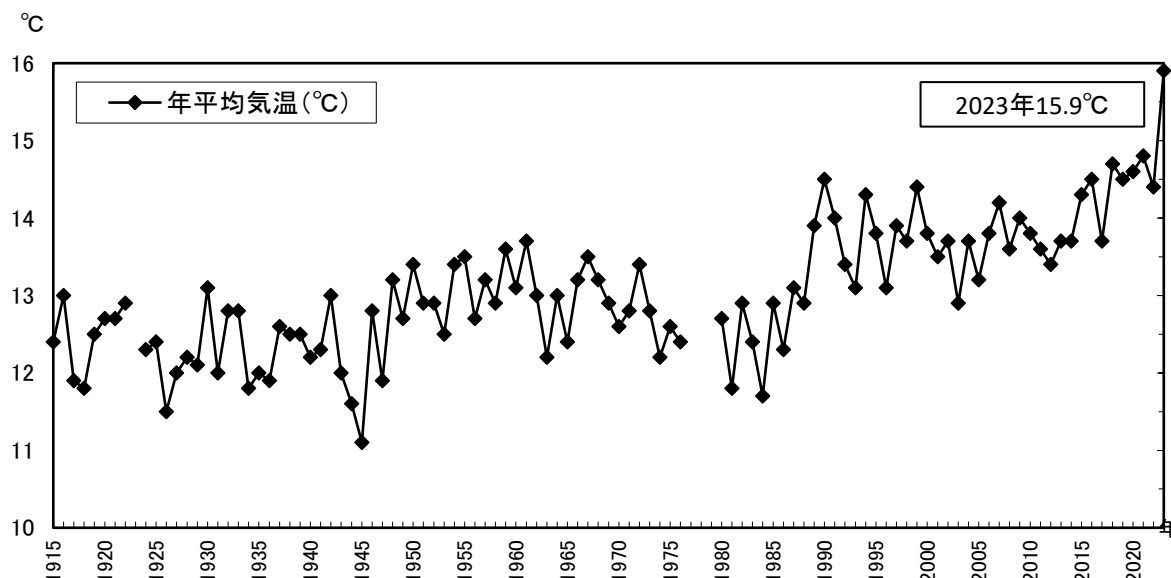


図1-2 年平均気温の推移(小名浜特別地域気象観測所(旧小名浜測候所)気象データ)

3 人 口

本市の人口は、昭和 33 年の 354,744 人を第一次のピークとし、その後、炭鉱の閉山などの社会的要因により年々減少の傾向にありましたが、昭和 46 年頃を底として増加の傾向に転じ、平成 10 年の 361,934 人を第二次のピークとして再び減少の傾向に転じています。

令和 6 年 4 月 1 日現在の人口は 318,704 人、世帯数は 141,212 世帯であり、県の総人口の約 18%を占めています。

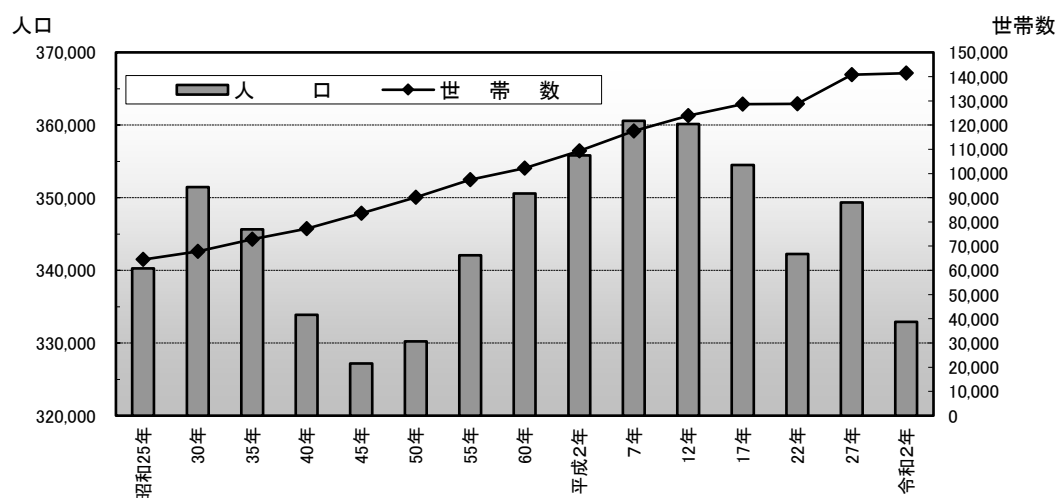


図1-3 人口と世帯数の推移(国勢調査)